

支えあういのちと愛

～千葉の会だより～

8月号 2017. 8. 1

発行：千葉骨髄バンク推進連絡会
〒267-0054 千葉市緑区大高町 18-37 北村方
TEL/FAX 043-497-5083
<http://www.marrows.or.jp/chiba/>

～県内各市町村の皆様方に～

◆骨髄バンク・ドナー助成制度創設のお願い

この度、6月定例県議会におきまして、ドナー助成補助制度の補正予算が可決され、導入が決定されたことを心から喜び、また関係されました県並びに県議の先生方等のご尽力に厚く御礼申し上げます。

また詳細を定めた本制度が8月4日制定され、運用はさかのぼって4月1日と定められたことを心から喜んでおります。つきましては、県内の各市町村におかれましては、早急にドナー助成制度を創設して頂くことを、切にお願い申し上げます。

我が国では、毎年新たに約1万人の方が白血病などの血液疾患を発症し、そのうち骨髄バンクを介した移植を必要とされる方は毎年2,000人以上です。しかしながら、ドナー候補が10人以上見つかるケースが比較的多くなった現在でも、移植を必要とされる患者さんの約6割にしか実際の移植は行われておりません。

この大きな理由は、職場を休めない、すなわち都合がつかない為とドナー候補者の健康理由であります。特に健康理由で中止になる確率の低い若年層において、都合がつかないため中止になる傾向が顕著にみられます。

このような背景の中、県の助成補助制度を受けて、各市町村の早急な助成制度創設が、一つの突破口になればと、大いに期待するところであります。若年層、非正規雇用等をはじめとした仕事を休みにくい状況の方々にとって、提供しやすい環境が整備されることを希求して止みません。

なお県の制度制定を受けて、各市町村のご担当の方に、私ども千葉骨髄バンク推進連絡会から制度創設のお願いをさせて頂く予定でございますので、宜しくごお願い申し上げます。
(助成担当 溝口)

◆県の助成補助予算の概要：千葉県HPより抜粋

骨髄移植におけるドナー支援事業【新規】(薬務課) 2,000千円

骨髄移植の促進を図るため、骨髄を提供したドナーや、従業員にドナー休暇を与えた事業所等に対し助成を行います。

[実施主体] 市町村

[補助対象] ① 骨髄を提供したドナー ② 従業員にドナー休暇を与えた事業所等

[上限額] ① 入院1日あたり20,000円(7日間を上限とする) ② 入院1日あたり10,000円(7日間を上限とする)

[負担割合] 県1/2 市町村1/2

啓発活動報告

沢井製薬関東工場見学 6月29日(木)

6月29日、沢井製薬の工場見学会に参加してきました。千葉の会からは柴谷、北村美、西島夫妻の4人が参加、全員で11名でした。以前からジェネリック医薬品、日本先発メーカーの沢井製薬には関心があり、茂原の関東工場は自宅からは1時間でしたので車で出かけました。工場は2013年に建設された最新鋭工場で生産ラインに沿った見学コースも整備されていてコンタミ防止、セキュリティ、生産工程自動倉庫など、製薬工場の勤務経験がある私の感想としても「素晴らしい」ものでした。さらに工場案内をしていただいた部長さんは私と同じ勤務先、住友化学姉崎におられた方だとわかり驚きました。これをご縁にコンサート協賛のお願いに再訪する依頼をさせていただいたところです。また、妻が声掛けした方は千葉大学病院の掲示を見て参加、千葉の会にも入りたいと即答していただき次回の定例会参加をお願いしました。二つのうれしいサプライズをいただき、コミュニケーションの「つながる」力を痛感した一日でした。(西島隆)



「チャリティコンサートと落語会」のイベント準備進行中!

今年で4回目となるイベントは、会場を変えて開催しますが現在準備中です。会場は成田市文化芸術センターになり、成田駅から1分と大変便利ですが、成田山新勝寺からは離れているのが難点で、車の方は駐車場の確保に留意ください。会場は新しく音響も含め気持ちいいです。実行委員一同、気分一新で現在ポスター、チラシ、チケット作成に取り組んでいます。近々、出来上がりますのでPR活動、協賛金集めに皆様のお力添えをお願いします。尚、今年の開催日は11月11日(土)です。新勝寺は今迄の紅葉見物から菊花展と鑑賞どころも変わります。(実行委員 円東)



登録会報告

イオンモール千葉ニュータウン 6月4日(日) 説明員:尾木

6月4日イオンモール千葉ニュータウン登録会は、初めて出くわした“キッズ献血疑似体験デー”とあって、親子での賑やかな光景は見るだけでほほえましく、多くのボランティア学生さんの一生懸命な姿にみとれました。白衣を着て子供相手に声掛けし、注射のまねをし、献血カードを渡し最後は白衣姿で「はい、ポーズ！」親にとってはたまらなくかわいいシーンだったでしょう！

また「6月14日は国際献血者デー」のポスターも張り出されていました。一見黒と赤の暗いイメージのそれは、Don't wait until disaster strikes What can you do? GIVE BLOOD GIVE NOW GIVE OFTEN、献血は誰もが緊急時に人を救う存在になれることを表現したものだそうです。ネットで図柄をみてください。ABO式血液型を発見しノーベル賞を受賞したカール・ラントシュタイナーの誕生日という特別な意味もあるということです。この日、私にとっては3つの新しい献血の意義に触れた日でした。

骨髄バンクの協力呼びかけも、常に「ギフト」であり「チャンス」であることを訴えています。何と登録していますよという方が立て続けに4名もいらっしや、新たに4名の登録をいただいた次第です。(尾木)



フルルガーデン八千代 7月8日(土) 説明員:柴谷

登録者 3名、説明受講者 0名でした。

* 10時開始前から中年男性献血者が数名次々やって来て、これは忙しくなるなと思ったがその後途絶え通路にて声掛け状態でした。午前中は男性が多く午後は女性の方が目立ちました。

* 朝一に来た中でギフトを見て直ぐ「骨髄バンクのことは良く知ってます」と言っただけで登録テーブルに来た男性は、グラビアを見て「年齢があるのですか。残念だー」と言われました。56歳の男性でした。

* 午後2時半過ぎに献血済みの3人の女の子連れのママが見えました。一番下の女の子(6歳)がママの側において問診採血に行っている間もテーブルから離れず、説明員といろいろお話をしたりして待ちました。お姉ちゃん二人(4年生の双子)は休憩コーナーでゲームをしていました。説明中にママ曰くこの子たちの上に3人中学と高校生の男の子がいますと話された。頼もしいお母さんでした。

* 休憩コーナーでギフトを渡すと夜勤明けで献血は出来ないと言われ献血中の友達を待っていますという男性が説明後登録してくれました。

* 幟等を片付けていたら「まだ登録できますか」と献血済みの女性が見えたので日赤さんにお聞きしたらどうぞとのことで、説明に入り問診採血に行かれたのが4時15分頃でした。

* 日赤さんが良く声掛けをしてくださったり、4時過ぎの説明中に登録お知らせのポスターをもってきてくれたりと登録にとっても協力的でありがとうございました。

* 暑い一日で特に午後はテントが日当たりとなり、テントから出て通路の日陰を探し(建物の影)献血の呼びかけを日赤さんと一緒に行い献血者がテントに入ると急いでギフトを渡しにテントに戻りました。最近こんなに水分補給をしたことが無いくらい飲みました(ペットボトル飲料2本)。(柴谷)



登録会報告	6月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員	登録会報告	6月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
イオンモール千葉ニュータウン	3日(土)	3	2	円東、山本栄	イオンモール木更津	24日(土)	4	4	山口、山本栄
イオンモール千葉ニュータウン	4日(日)	4	3	尾木	イオンモール木更津	25日(日)	7	3	円東、河口
フルルガーデン八千代	11日(日)	5	0	北村美、久永	三井化学市原工場	26日(月)	0	—	(説明員なし)
JR新浦安駅前	11日(日)	3	6	西島夫妻	白井市役所	29日(木)	1	0	河口
東庄町役場	20日(火)	6	2	北村美、柴谷	千葉市役所	30日(金)	4	2	円東、北村美

登録会報告	7月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員	登録会報告	7月	登録者(人)	説明受講者(人)	説明員
睦沢町農村環境改善センター	4日(火)	4	2	北村美	イオンモール木更津	15日(土)	6	4	西島夫妻
多古町役場	4日(火)	3	2	円東	イオンモール木更津	16日(日)	8	2	円東、柴谷
千葉工業大学津田沼キャンパス	5日(水)	1	14	山本栄	国際武道大学	18日(火)	6	2	西島夫妻
日本大学 生産工学部	6日(木)	2	2	円東	国際武道大学	19日(水)	4	1	円東
日本大学 生産工学部	7日(金)	3	5	尾木	市原市役所	20日(木)	7	5	西島夫妻
我孫子市役所	7日(金)	1	2	山本栄	茂原市中央公民館	24日(月)	1	3	北村美、久永
フルルガーデン八千代	8日(土)	3	0	柴谷	君津市保健福祉センター	25日(火)	2	7	西島夫妻
JR新浦安駅前	9日(日)	7	3	久永	香取市小見川市民センター	25日(火)	4	3	円東
千葉工業大学新習志野キャンパス	10日(月)	8	0	尾木	成田市役所	26日(水)	5	1	北村美
千葉工業大学新習志野キャンパス	11日(火)	4	2	北村美、山口	一宮町保健センター	26日(水)	1	2	柴谷
千葉商科大学	12日(水)	4	3	北村美、久永	フルルガーデン八千代	30日(日)	8	0	尾木
千葉商科大学	13日(木)	0	5	志田、山本栄	南房総市役所 別館	31日(月)	2	3	円東
君津中央病院	13日(木)	3	3	西島夫妻					

全国骨髄バンク推進連絡協議会関係報告

全国ボランティアの集い 5月27日(土)

5月27日(土)東京港区の日本赤十字社大会議室にて、約100人の参加者のもとで開催され、千葉の会からは、8人が参加しました。第1部の式典に続き第2部では「造血細胞移植の現在と未来」～コーディネートを短縮するために～と題して、国立がん研究センター中央病院の福田隆浩先生の基調講演がありました。

第3部シンポジウムは「未来に輝き続けるいのち」をテーマに様々な患者支援活動の設立の経緯についての紹介があり、後半のパネルディスカッションには移植治療前に精子・卵子保存を行い、その後に移植を受けて元気になられ父親となった患者さん、母親となった患者さんがお子様とともに登壇され、この間の体験を話されました。

第4部は5人組のバンドユニットの演奏で、全てのドナーへの感謝を込めたオリジナル曲「プリズム」や「糸」「地上の星」を歌い上げ最後に「花は咲く」を手話を交え皆で歌い、フィナーレとなりました。

今回参加して色々な患者支援活動の意義と現状を詳しく聞くことが出来、なかでも移植を受け、お元気になられたお2人がわが子と出会うことが出来た喜びを語られた姿に感動し、あらためて活動の大切さを実感することが出来ました。

(久永)



全国骨髄バンク推進連絡協議会 総会、代表者会議 5月28日(日)

全国骨髄バンク推進連絡協議会の2017年度通常総会と代表者会議が日本赤十字社本社会議室で行われました。千葉の会からは荒井・野澤両理事と梅田会長、北村が参加しました。

総会では、2016年度事業報告、決算及び事業・会計監査報告、2017年度事業計画、予算等の説明があり、議案はすべて承認されました。2017年度具体的な事業内容の中でドナー支援のための「ドナー助成制度」の普及啓発について、また、ドナー登録者増のための取り組み他、活発な議論がなされ、私どもの活動と重ね合わせながら興味深くお聞きいたしました。

又、新役員を選任があり、千葉の会関係理事では荒井・野澤両理事が退任され、当会の梅田会長が副理事長に就任しました。

総会後は引き続き代表者会議が開催されました。参加18団体が活動報告をされ、各地の活動の様子を伺いました。当会からは献血併行登録会を活発に行い、2016年度は1,000人を超える登録者数となり、4月に14,000人の目標人数を達成した事、今年も成田での「コンサートと落語会」を開催する事、パネル展の開催、ケア帽子製作のプロジェクトの事などを報告いたしました。(北村美)



全国骨髄バンク推進連絡協議会の新体制

7月2日(日)に全国骨髄バンク推進連絡協議会(全国協議会)の事務所(馬喰町)で新旧理事、監事、事務局員計21人出席による引継ぎがあり、新体制がスタートとしました。

理事長には岐阜の田中重勝さんが就任しました。(全体統括、東海北陸ブロックセミナー)、副理事長には神奈川の村上忠雄さん(渉外関係所管:国際協力、会計)、東京の若木換さん(患者支援・ドナー支援関係所管:白血病フリーダイヤル、佐藤きち子基金、志村大輔基金、こうのとりのりマリン基金、社会復帰支援・患者サロン)、私千葉の梅田正造(事務局等管理関係所管:協議会ニュース、グッズ、輝き展、HP・ML、会計、関東甲信越ブロックセミナー)が就任しました。理事には以下の皆さんが就任し、担当割をしました。内山景一朗さんが協議会ニュース、北海道ブロックセミナー。北折健次郎さんが協議会ニュース、佐藤きち子基金、国際協力。田中雄一郎さんが協議会ニュース、中四国ブロックセミナー。小野喜代人が輝き展、東北ブロックセミナー。山村詔一郎さんがホームページ・メーリングリスト、近畿ブロックセミナー。辻枝雄さんが志村大輔基金。浅野祐子さんがこうのとりのりマリン基金、社会復帰支援・患者サロン、九州沖縄ブロックセミナー。尚、会長には引き続き仲田順和さんが、副会長には渋谷俊徳さん(継続)、東井朝仁さん(継続)、野村正満さん(新任)、菅早苗さん(新任、引き続き基金を担当してもらう)が就任しました。(梅田)



イオン柏店 黄色いレシートキャンペーン 6月11日(日)

6月11日(日)12時~14時まで1階食料品売場前通路にて行いました。日曜日の昼下がり時間帯で、店内はいつものようにご家族連れのお客が多く、賑わっていました。5月末にイオン柏店より、お客様からの苦情発生でボランティア団体への活動内容が変更縮小となりました。1回2時間制、3団体まで。2人対応でイオン担当者1名が必ず一緒に声かけ活動を行うことになりました。

又、1団体の活動回数は年4回から2回になります。私たちが持つレシート受け入れカゴには団体名が記載されています。また、イオン担当者による店内アナウンスにて活動団体名のお知らせがありました。

今回も今までの雰囲気と変わりなく行え、お客様のお1人からは黄色いレシートによる活動支援の仕組みについてお尋ねがありました。

10年以上にわたるこの活動は当会にとっても大変に有難い支援です。これからも「継続は力なり」で取り組みたいと思います。(高橋)

日本骨髄バンクと千葉県の登録者数最新情報 (2017年6月末現在)

	全国(累計)	対前号増減数	対前年増減数	千葉県(累計)	対前号増減数	対前年増減数
ドナー登録者数	474,185	+2,634	+12,117	14,175	+136	+588
累計患者登録者数	51,348	+514	+3,003	1,995	+25	+102
累計移植例数	20,869	+228	+1,240	657	+7	+49

『瓢箪から白血病！？』第3回 (第二章 治療方針についての具体的説明) ~I.K.~

久々に 体疲れて 七度五分 今日はなんだか 男が嫌い

この手記が書かれたのは1998年の5月20日、第2回目のカンファレンスが行われた時のことである。この段階では寛解導入といって、ある程度まで体が回復し、院内散歩許可、並びに一泊の外泊許可が出たころの事である。今後のことについて家族ぐるみで話し合われた。

治療方針としては重症にならない為に無菌室、赤血球が増えない為に輸血治療を行っていくことに加え、家族内でドナーを探してみてもいいかという話まで出た。

現状としては、がん化した細胞がまだ残っているため、間2, 3か月を空けずに抗がん剤治療・輸血治療を行っていくことが賢明であるという、説明を受けた。寛解導入が成功したのは一つのステップで、その後、化学療法で同じく良い状態になるために引き続き抗がん剤治療を行っていく。これ地固め療法と言われる治療法で、人によってはこれで完治する。残念ながら私は選ばれず、ただ骨髄移植という治療法しか選択肢がなかった。残念だったのは当時身障者だった父が、母がドナー適合検査を受けることを猛烈に反対したことで、娘より伴侶かと思うと泣きたい気分になった。



こいこいの 宇宙と地球の随想記 1st シーズン「星の巻」

第3回 あの星はどのくらい遠いの? ~星までの距離の測り方~

夏は天体観望の好機です。特に、8月12日から13日にかけてのペルセウス座流星群は、流れ星を見るのにいい機会です。また、8月8日の明け方3時から4時頃にかけて、西の空で部分月食が見られます。

光の速さで1年間かけて進むことのできる距離を1光年といいます。それは、地球から太陽までの距離の10兆倍です。太陽に一番近い星はケンタウルス座のアルファ星ですが、その星まで光の速さで4.3年かかります。

比較的近くの星までの距離は、地球が太陽のまわりを回る動きを使って三角測量の要領で知ることができます。それより遠くの星は、見かけの明るさとその星の本来の明るさとの違いから求めます。星が遠くにあるほど、実際の明るさより暗く見えるというわけです。さらに、その方法でも測れないほど遠くにある星があります。現在では、太陽系から130億光年も離れた銀河が見つかっています。まさに、天文学的数字です。宇宙に果てはあるのか・・・なかなか理解できない難問です。(H. K.)



ボランティア・会員募集

TEL/FAX 043-497-5083 事務局 北村まで
ボランティアとしてどなたでも、出来ることが色々あります。骨髄バンク=登録だけではありません。さあ、あなたも始めてみませんか。何かやってみたくなったら、お気軽に連絡下さい。

患者・家族電話相談「白血病フリーダイヤル」

0120-81-5929

毎週土曜日 10:00-16:00

毎月第2, 4土曜日には

血液専門医も相談に応じます。

(認定NPO法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会)

こころからの寄付、ありがとうございます

山本弘之 様 7,000円、 佐野正枝 様 2,000円
遠藤信行 様 2,000円、 沖本由理 様 30,000円

今後(8~9月)の予定(お知らせ)

ドナー登録会
・千葉県庁 8月14日(月)~16日(水)
・船橋市役所 8月21日(月)
・習志野市役所 8月25日(金)
・イオンモール成田 8月26日(土)
・白子町役場 8月28日(月)
・袖ヶ浦保健センター 8月28日(月)
普及啓発活動
・三井化学秋まつり 9月10日(日)
定例会予定
日時 9月3日(日)14時00分
場所 船橋FACE5階 ボランティアルーム

<編集後記>

今回の会報は、河口編集委員長がお母様の介護のため年内休会となったため、急遽私がピンチヒッターしました。7月から全国骨髄バンク推進連絡協議会の副理事長に就任したこともあり10月号からは、どなたかに編集委員長代行になって頂きたいと思っていますので協力下さい。

私は75年に会社員になって以降95年に骨髄液提供で入院しましたが、他は入院したことはありませんでした。

しかし・・・去年の社内の健康診断で胆泥症(胆嚢に石の元になるドロドロした泥のような物がある)と指摘され、年明けに病院に行ったところ胆石になっていると言われ、胆石を溶かす薬を5カ月間飲みました。その効果を6月24日に聞きに病院に行ったところ溶けていないとのことで、次は痛くなったら来て下さいということでした。何年も痛くならない人が多い中、なんと7月9日に激痛と、高熱が出て一週間入院する羽目になりました。

改めて健康のありがたみが身に染みたことでした。

(梅田)